

農薬中毒の応急手当

薬剤を誤って飲んだり、農薬の煙霧を連続吸入したりして**中毒患者が発生したら、応急手**

当をして、すみやかに医師の治療を受けます。

救急処置の根本は農薬の迅速な排除、吸収の防止、体力の維持等で、呼吸障害に対しては人工呼吸を行いません。

中毒患者を発見したら、何という農薬を飲んだのか、吸入したのか、皮膚に付着して吸収されたのかをできるだけ早く判断する必要があります。そして医師に対してはできるだけ詳細に知らせます。その際には、使用した農薬容器またはラベルを持参します

1. こんな時はすぐ医師へ

腹が痛い、吐気がする、めまい、フラフラする、頭がいたい、肩こり、胸が苦しい、生あくびがでる、皮膚がかぶれる。

2. 応急手当の方法

- ① 皮膚についた時は直ちに石けんでよく洗い流します
- ② 眼に入った時は直ちに15分以上洗眼し、眼科医にみてもらいます。
- ③ 口に入った時は直ちにうがいをさせた後、水や食塩水を大量に飲ませ口に指を差しこんで吐かせ、これを胃の内容物がなくなるまでくりかえします。
- ④ 薬剤を衣服の上にこぼした時は下着まで全部脱がせ、石けんで全身をよく洗い、新しく着がえさせます。
- ⑤ 医師に連絡して往診を求めるか、あるいは救急車を呼びます。
- ⑥ 新鮮な空気のところで身体を楽にし安静にします。